

# インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 14 週 ( 2026/3/30~4/5 ) 感染症発生動向調査速報値 ( 2026/4/8 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数： **335** 人、定点医療機関当たり **6.98** 人

※急性呼吸器感染症定点 (旧インフルエンザ/COVID-19定点、小児科29定点、内科19定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

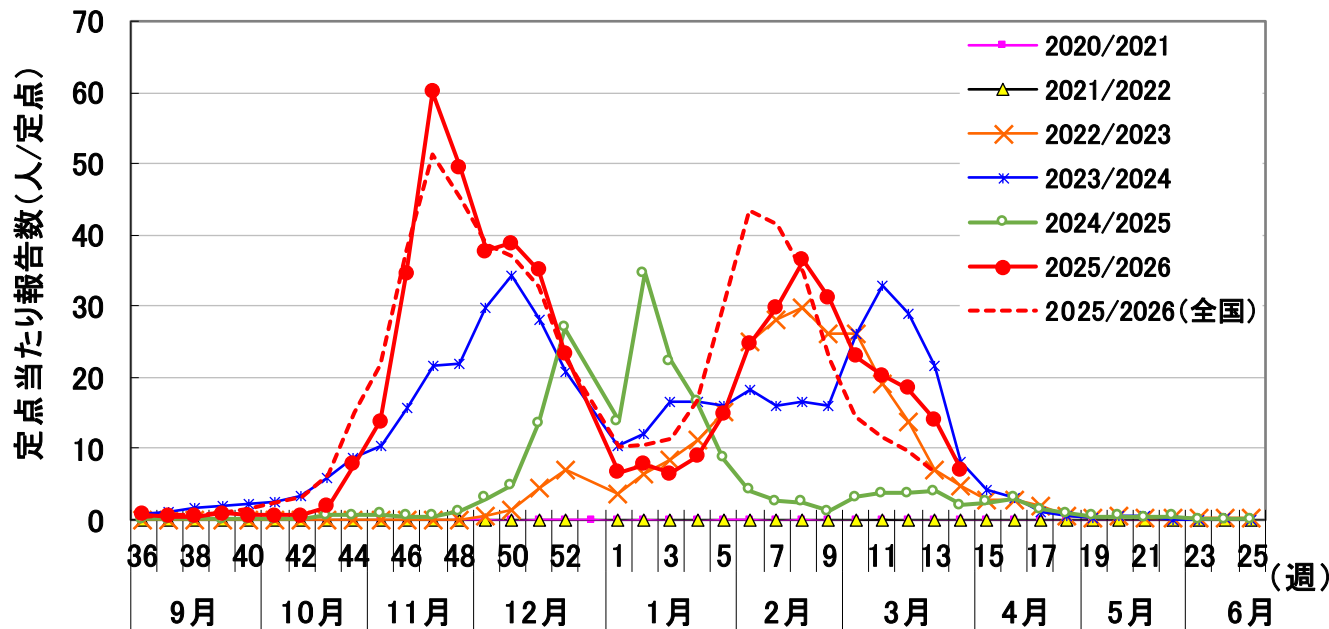
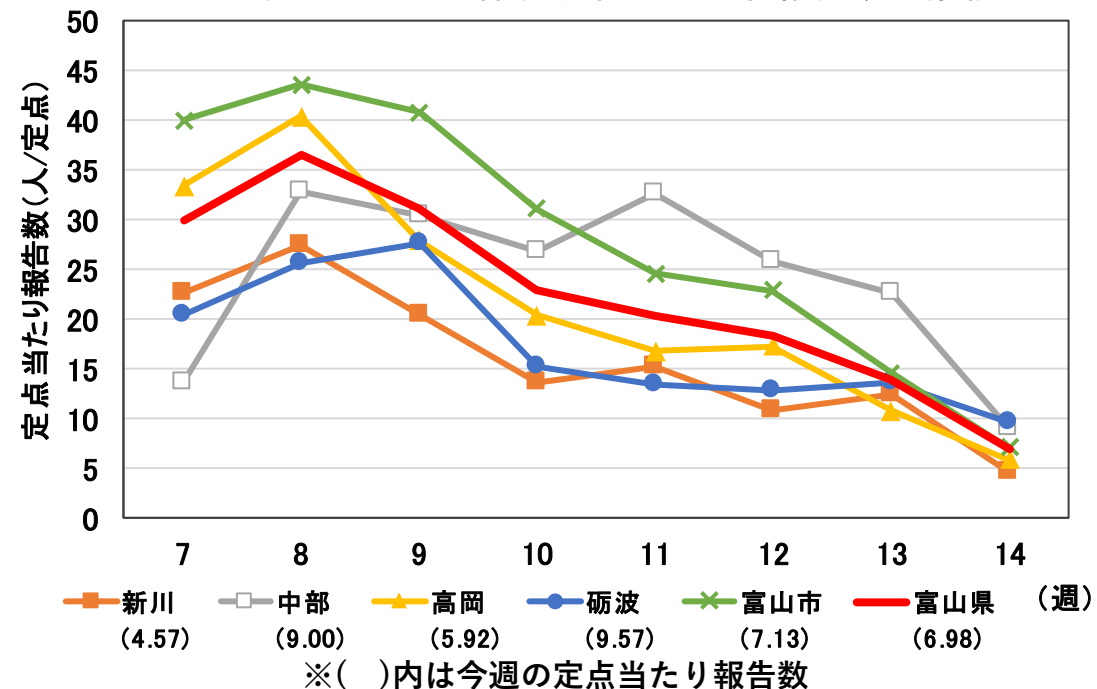
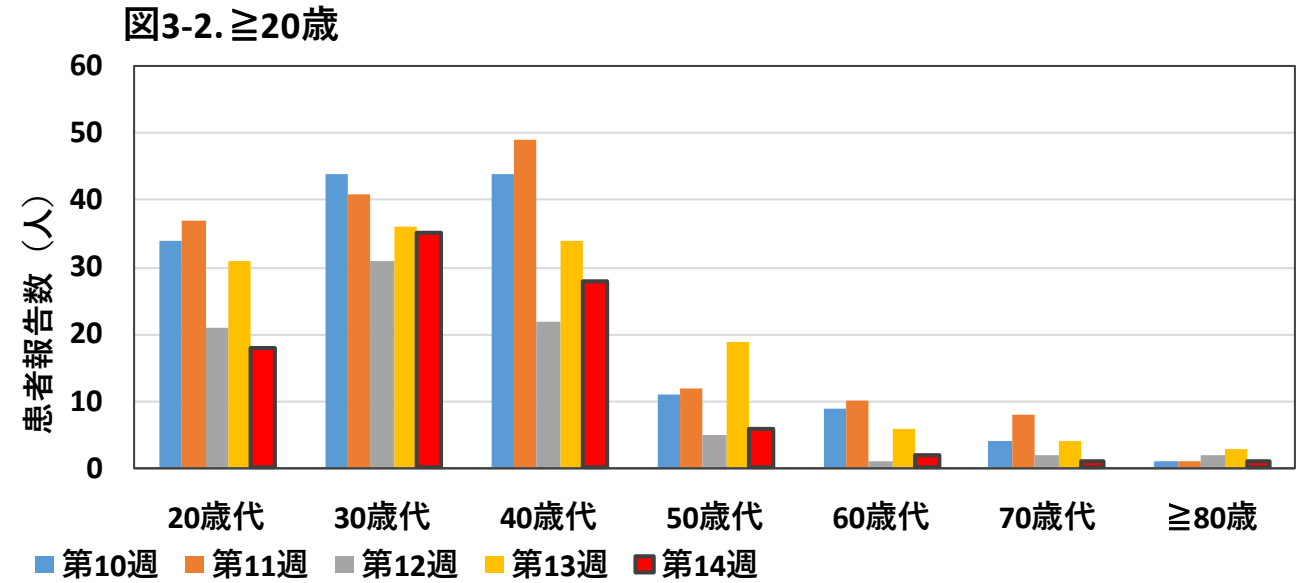
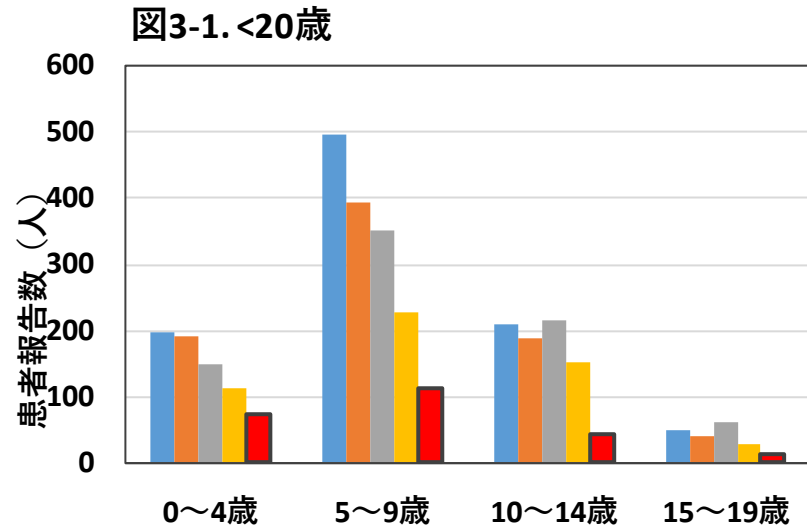


図2. 厚生センター・保健所管内別患者報告数の推移



- 富山県の患者報告数は今週6.98人/定点となり、先週 (14.00人/定点) から減少し、警報レベルの終息基準である10.0人/定点を下回った。(図1)。
- 厚生センター・保健所管内別に見ると、すべての管内で先週から減少した(図2)。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：19定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- すべての年代で、先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第13週)

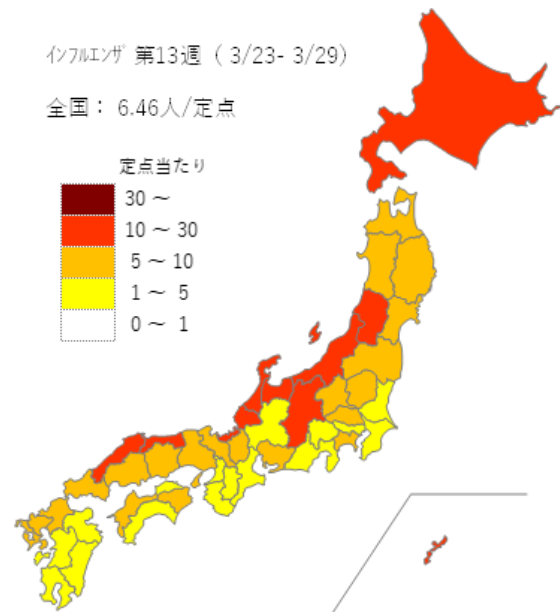


図5. インフルエンザ入院サーベイランス

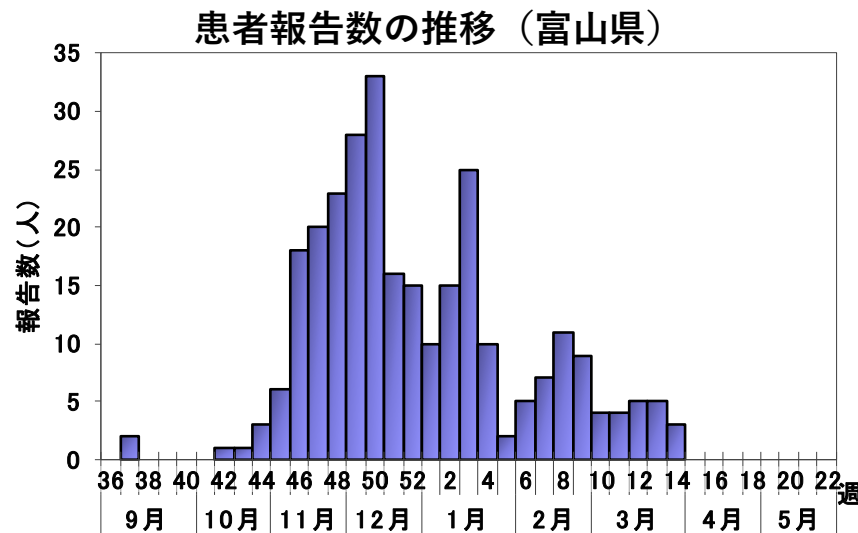
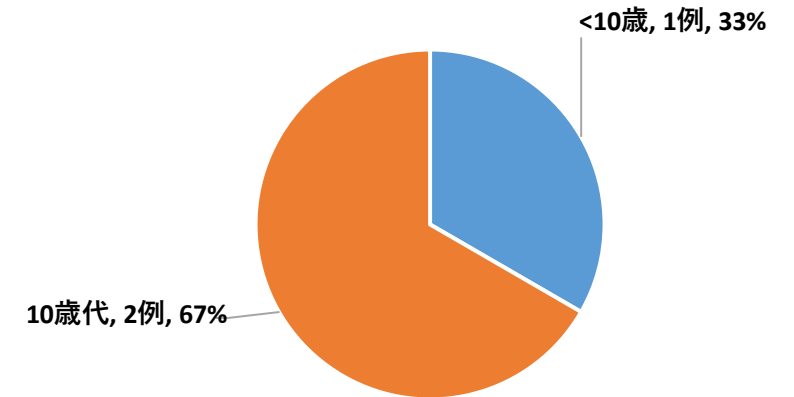


図6. インフルエンザ入院サーベイランス

年代分布 (第14週、3例)



- 全国では第13週に6.46人/定点となり、第12週 (9.75) から減少した。都道府県別では、10道県で警報レベルの終息基準である10.0人/定点を超えている (図4)。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランスでは、今週3例の報告があり、先週 (5例) から減少した (図5)。
- 入院患者の年代は、10歳未満が1例、10歳代が2例であった (図6)。
- 第14週は春休み期間中であり、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告はなかった ([富山県インフルエンザ関連情報](#))。
- 県内の患者報告数は先週から減少しており、全国の患者報告数も同様に減少傾向となっている。B型の検出割合は89.3% (第13週89.8%) と依然多くを占めていた ([富山県感染症発生動向速報2026年第14週](#))。依然として流行は継続しており、引き続き発生動向を注視する必要がある。